

平成27年度 府中市職員採用案内



このまちに
働く

60周年を向かえ、府中市が大きく変わり始めます！

市民協働都市を目指して ～市長メッセージ～

『ともに未来へ 笑顔あふれる わがまち府中』

これは、市民の皆様から公募し、市民の皆様の投票により選ばれた市制施行60周年を迎えた本市のキャッチコピーです。このキャッチコピーの込められた想いと等しく私は、常々「協働」の必要性について訴えてきています。これは、現下の厳しい社会経済状況において、これまで当たり前とされてきた行政の担ってきた役割を見直さなければならない時期に来ていると感じているからです。

地域の自主性が求められる中、複雑かつ多様化する地域課題を解決していくためには、これまで以上に市民の皆様が主体的に行政に関わっていただき、市民が主役のまちづくりを実践していく必要があるものと確信しています。

その先駆けとして、今年度がスタートの年となる第6次府中市総合計画については、公募市民と公募職員で構成された協議会の提言を最大限尊重した計画として策定しました。

私は、今年の市政運営のキーワードの一つとして「信頼と絆で協働」を掲げています。職員に対しては、第一に市民に信頼される職員になること、その上で市民の声に真摯に耳を傾け、市民ニーズを的確に把握し、効果的かつ効率的に施策を展開していくことを求めています。

府中をもっと洗練された住みやすいまちにしていきたいと思うあなた。変化を恐れず前向きな姿勢で私や職員、そして市民の皆様とスクラムを組んで「One For All、All For One」の言葉のもと、府中の未来を創っていきましょう！**皆さんの挑戦を心からお待ちしております。**



府中市長 **高野 律 雄**

Change 1 市民との“協働”を進めます！

近年、地域社会を取り巻く環境は、市民の価値観の多様化・ライフスタイルの変化による近隣住民間のつながりの希薄化などにより、年々変化しており、そこから生じる課題も、ますます複雑化・多様化するようになってきています。

こうした状況下では、行政だけで、地域課題の解決や多様なニーズに応じた公共サービスを提供することは困難であることから、市民と行政が役割分担のもと、それぞれの能力を発揮しながら、「協働」してまちづくりに取り組む必要があります。

このため、府中市では「公共分野を担うのは行政」との従来の発想を大きく転換し、平成26年度を初年度とする第6次府中市総合計画について、市民の皆様と連携・協力し、ともにまちづくりを進めていく「市民協働」を基軸として策定しました。

また、「府中市市民協働の推進に関する基本方針」を定めるとともに、「市民協働都市宣言」を実施することを決定するなど、総合計画に掲げる都市像「みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち」の実現に向けて、積極的に市民協働によるまちづくりを推進しています。

今、府中市では、「市民協働都市」の実現を目指して、**市民とともに考え、汗を流し、一体となって地域課題の解決に取り組むことができる、熱い志を持つ人**を求めています。



市政の重要な計画も、市民とともに作り上げていきます
◀市民とともに

新しい府中のまちづくりにあなたも参加しませんか？

Change 2 市の玄関口が変わります！

市の表玄関である京王線府中駅南口地区では、再開発事業が進行中です。

現在、3地区のうち2地区の事業が完了し、残る1地区も平成29年1月の竣工に向け工事が進められており、今後、更なる中心市街地の活性化が期待されます。

新施設には店舗や居住スペースだけでなく、市民協働の活動拠点も整備される予定です。

皆さんが職員として一人前になるころには、**様々なイベントや事業を行う“仕事の舞台”**となるかもしれません。



府中駅南口第1地区の完成予想図(京王線府中駅側から見た鳥瞰図)

Change 3 新庁舎が変わります！



現庁舎(府中街道側から)

現庁舎は、多摩26市の中で最も古い庁舎(西庁舎：昭和34年築)であり、現在、平成33年度の竣工を目指して、現庁舎の建て替えを計画しています。

新庁舎には、京王線府中駅とJR府中本町駅を繋ぐまちづくりの拠点としての機能が求められるほか、その計画には市民の声のみならず、そこで働く職員の意見も多く取り入れていく必要があります。

新庁舎建て替えを機に、**職員が一丸となって、都内のみならず全国に誇れる職場を目指していきます。**

Change 4 公共施設の維持管理が変わります！

～公共施設・インフラマネジメント～

市政世論調査において9割を超える市民の方々が、「住みやすい」「住み続けたい」と回答しています。

その理由の第1位は「緑が豊か」、第2位は「公共施設が充実している」となっています。

現在、その公共施設(道路、公園等のインフラを含む)の維持更新問題が、全国の自治体において大きな課題となっています。本市では全国に先駆けて公共施設・インフラマネジメントの取組を進めてきており、今後更なる取組の推進を図るためには、職員一人ひとりの新たな発想、意識改革が必要となります。

「建物を造る」から「建物の有効活用」の時代に、皆さんのフレッシュな視点を活かしてみませんか？



「公共施設マネジメント」配布用パンフレットより▲

事務職 政策総務部広報課

中村 紗也 (平成21年度採用)

多くの皆さんに見てもらえるという
“責任感”と“達成感”

受験生へのメッセージ

私は当時、ここで落ちたら後がないという状況だったため、府中市のために精一杯働こうと思い入庁しました。今では素晴らしい先輩方に囲まれて仕事が出来て、府中市を選んで良かったと心から思います。受験勉強中は辛い思いをすることが多いかと思いますが、就職は人生での大きな選択のひとつだと思うので、妥協しないで頑張ってください。苦しいときこそ笑顔！やる気を持って入庁し、若い力で府中市を動かしましょう。一緒に働けることを楽しみにしています。

Q. どのような業務・職場ですか？

月3回発行している広報紙「広報ふちゅう」の編集・発行や、各課が行っているイベントなどの取材・撮影が主な業務です。

広報課は、職員同士で話をしやすい環境です。会議では見やすい紙面作りを進めるべく、熱い議論が繰り広げられますが、業務後は、グルメ会、カラオケ、野球観戦、演劇鑑賞を楽しみ、和気あいあいとした職場です。

Q. 異動を経験してどんな変化がありましたか？

以前は、他の部署との調整が少ない部署に勤務していましたが、異動後は市全体をPRするため他の部署との調整も多く、行事や季節の話題など、様々な情報に目を向けなければいけないという意識の変化がありました。紙面の内容に対する様々なご意見をいただくと、皆さんに見ていただいているということを実感し、情報を正確に伝える必要があると、改めて責任を感じます。

それでも、何度も調整を繰り返した記事が出来上がり、自分で撮影した写真が紙面に載ったときには、前の部署とはまた違う達成感があります。

事務職 行政管理部防災危機管理課

高森 雄大 (平成25年度採用)

“若手だからこそ”の視点を
この先の業務に

受験生へのメッセージ

公務員試験の準備はやることが多く、モチベーションを保つのが大変だと思います。私も受験準備に行き詰まった時は、当初の目標を思い出してやる気を高めていました。辛い時は気持ちを切り替えながら、目標に向かって頑張ってください。

皆さんのやる気と熱意を発揮していただき、一緒に府中市を盛り上げていきましょう！

Q. どのような業務・職場ですか？

火災・災害発生時を想定した消防水利等の整備や、市民の方への防災啓発活動を担当しています。

近年「防災」は市民の方から特に注目されている分野だと日々意識し、市民の安心安全のために業務に取り組んでいます。災害対応の際は写真のように災害対策服を着用し業務にあたることもあります。

私の部署では、担当者の考えが業務によく反映されるため、責任は大きいですがその分やりがいも大きいです。職員同士の距離感も近く、普段は和やかな雰囲気ですが、非常時にはお互いにサポートし合える体制が出来ています。

Q. 入庁2年目の職員として心がけている点は？

昨年は入庁1年目で分からないことも多く、失敗してもいいからとにかくチャレンジする意識で業務に取り組んでいました。

現在は昨年の失敗や、業務内容を見つめ直して感じた点を改善できるように、全体像を考えながら取り組むようにしています。また、若手らしく常に市民視線を忘れないように意識しています。

技術職(建築) 都市整備部建築指導課 小川 侑太(平成22年度採用)



市のまちづくりに“直接携われる” 仕事をやりがいに

Q. どのような業務・職場ですか？

建物の計画が建築基準法などの規定に適合しているか審査をしており、窓口対応や書類審査、現場検査などを行っています。

私の部署は、事務職員と技術職員で構成されていることもあり、各々の得意・不得意を互いにフォローし、課全体で協力して業務にあたっています。

また、若手の内から重要な業務に携わることができ、対応が難しい案件については、先輩や上司がサポートしてくれるので、思い切って仕事に取り組むことができます。

Q. 市の技術職の魅力はどこにあると思いますか？

市民とのやりとりはもちろん、事業者と業務のやりとりも多く、専門的な知識や技能の修得が不可欠となるため、必然的に仕事を通じて一技術者としてレベルアップしていくことができます。

また、技術職員の配属先では、都市計画やインフラ関係、公共施設の設計・監理、建築行政など府中市のまちづくりに直接係る仕事に携わることができるため、大きなやりがいを感じることができると思います。

受験生へのメッセージ

採用試験のための勉強は大変でしょうが、専門試験は大学で学んだ知識を以って挑めば必ずいい結果が生まれると思います。やる時にはやるという姿勢は職員になった後にも大切なこととなりますので、今はその時だと思って精一杯努力してください。

これからの府中市の未来を支えていくためにも、若く意欲的な職員の力が必要です。より魅力的な府中を目指して共に働きましょう！

保育士職 子ども家庭部保育支援課 中島 綾水(平成23年度採用)



子どもたちの“生活の場”を 笑顔と元気のある場所に

Q. どのような業務・職場ですか？

市の保育所に配属され、日々子どもたちと共に過ごしています。保育所は子どもたちにとっての生活の場となるので、一緒に遊ぶことはもちろん、食事、排泄の介助など様々な役割を担っています。

その他にも、保育準備など業務内容は多岐にわたりますが、みんなの笑顔を見ると元気になれる、非常にやりがいのある仕事だと思います。

職場内には色々な職種、様々な世代の先輩方がいます。仕事に熱意のある方ばかりなので、課題にも職場全体で取り組み解決できるよう、日々話し合いが行われていたり、とても活気のある職場です。

また、仕事の相談以外にも、他愛のない話ができる和やかな雰囲気職場なので、楽しく仕事ができます。

Q. 府中市を受験した志望動機はなんですか？

府中市は緑が豊かで、公園施設も充実しています。この環境は子どもたちにとって過ごしやすいまちだと思い、「働くなら府中市で」と受験しました。

受験生へのメッセージ

専門的な知識を必要とする仕事ですが、日々の業務をこなすことで少しずつ経験として身につけていき、自分の成長にもつながっていきます。

初めは不安なことも多いと思いますが、職場には丁寧に指導して下さる先輩方がたくさんいます。常に向上心を持ち、仕事に向き合える心を持って、是非府中市と一緒に働きましょう。

データで見る府中市

人口は25万人
都内の市町村では、八王子市、町田市に続く3番目の多さです。

市民1人が1日出す総ごみ量は645g/日
都内の市町村では、小金井市に続く2番目の少なさです。

面積は約29km²
(東京ドーム589個分)
都内の市町村では、5番目の広さです。

市民活動が盛ん
市内のNPO法人は106団体で、都内の市町村では、3番目の多さです。

製造業も盛ん
都内の市町村では、事業所の製造品出荷額が第1位です。

府中は、住みやすく、住み続けたいまち

Q府中の住みやすさは？
約94%が住みよいと回答しています。

Q生活の満足度は？
約90%が満足と回答しています。

Q府中の定住意向は？
約95%が住み続けると回答しています。

市への要望トップ5

(特に力を入れてほしいこと)

- 1位 高齢者福祉対策
- 2位 防犯・風紀対策
- 3位 清掃・環境整備対策
- 4位 市民の健康管理対策
- 5位 消防・防災対策

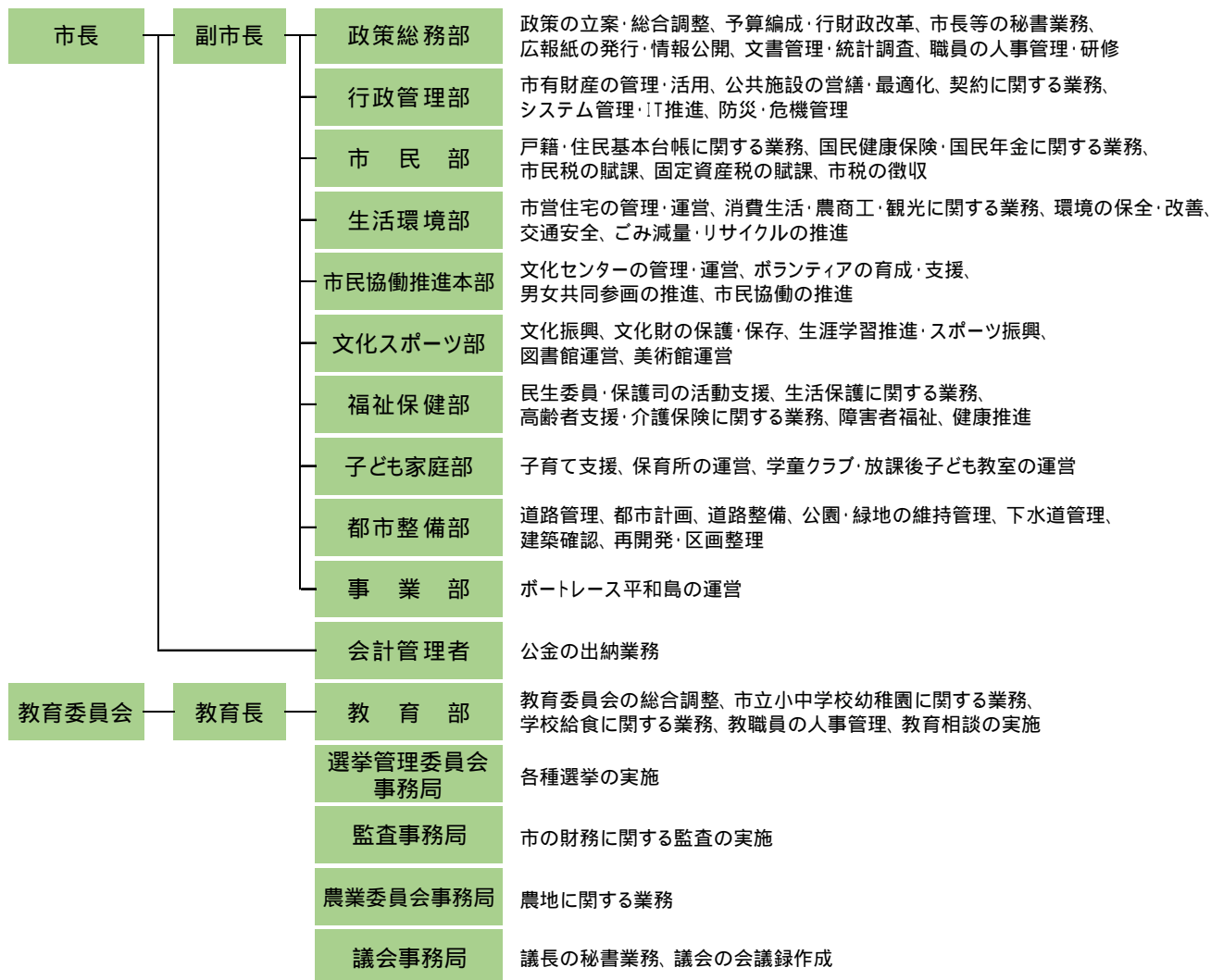
高齢者福祉対策は、平成18年度から連続して1位を記録しています。

【出典】・多摩地域データブック

～多摩地域主要統計表 平成25年度版～(東京市町村自治調査会)
・平成25年度実施 第45回市政世論調査(府中市政策総務部広報課)

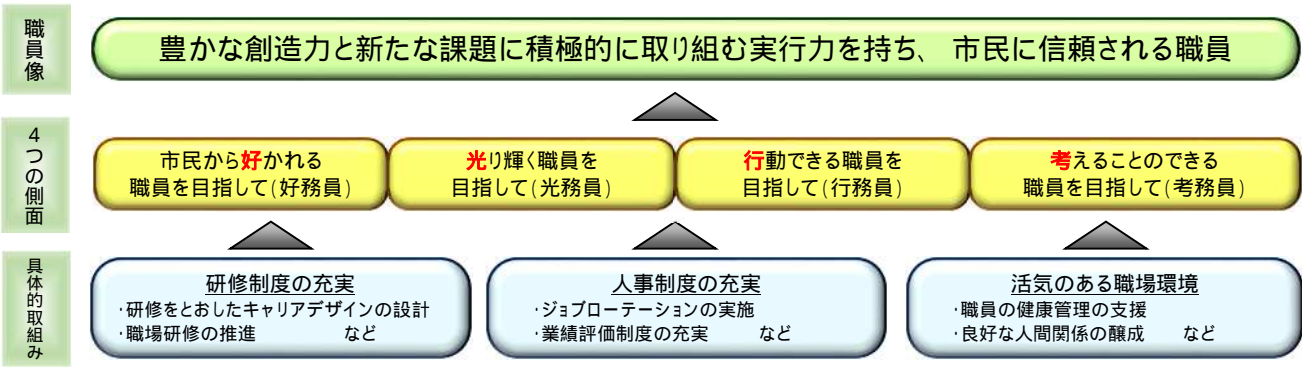
組織案内

府中市には、次のような部署があります。どの部署も府中市を支える重要な役割を担う、みなさんの活躍の場となります。
(平成26年4月1日現在)



研修・人事制度 ~ 目指すべき職員像 ~

府中市人材育成基本方針では、府中市職員として目指すべき職員像を設定し、この職員像を実現するために、4つの側面を行動指針として掲げ、具体的な取組みを行っています。

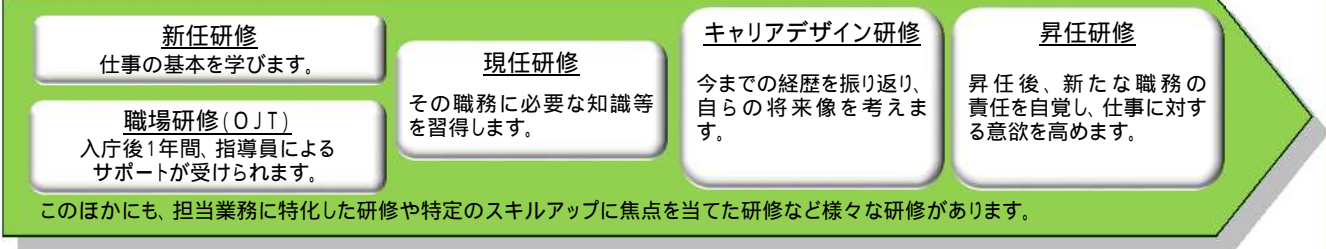


研修制度



職員研修は、職場や組織のニーズを踏まえて職員の自主的な意欲に応える多様な能力開発の機会を提供し、組織目標の実現を図るための職員自身の自己啓発のきっかけづくりや支援の場として、人材育成には欠かせないものです。
 今後も重要な役割を担う、研修制度の充実を図るため、府中市では7つの取組みを掲げています。

< 具体的な研修例 >

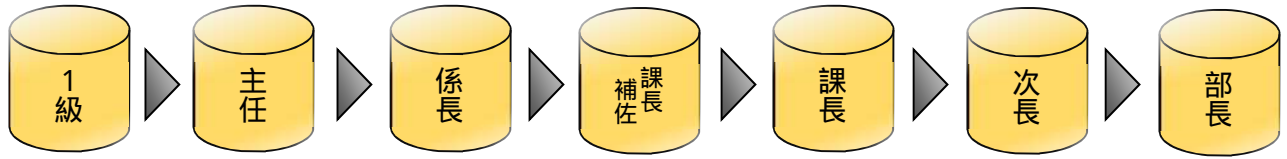


人事制度

人事異動
 人事異動は、本人の能力・適性・経験などを考慮し、概ね3～5年で行われます。様々な分野で経験を積むことで、広い視野・知識を習得し、バランスのとれた能力開発を図ります。
 なお、自己申告制度により異動先を希望することもできます。

勤務実績に対する評価制度
 評価は、決められた基準・手順により所属長が行い、評価結果は人材育成、昇任試験や給与への反映などに活用されます。
 職員一人ひとりの能力向上を図り、頑張りに応じた適切な処遇反映を行います。

昇任フロー



昇任は、勤務成績や研修実績等を考慮し、昇任試験や選考により行われます。職員一人ひとりが知識、能力、意欲等に応じた職に就くことができます。最も早く29歳で係長級に昇任します。

その他、活気ある職場環境づくりを支える制度として、産業医による健康相談などがあります。

申し込みにあたって

初任給

採用区分	給料(地域手当を含む)	手当
上級	202,944円	地域手当、住居手当、扶養手当、 期末・勤勉手当、通勤手当など基準により支給
中級	179,984円	
初級	162,176円	

平成26年4月1日現在 府中市職員初任給基準による

勤務条件

勤務時間	・原則として、午前8時30分から午後5時15分(1日7時間45分) 1週につき38時間45分勤務、週休2日制 配属により、変則勤務あり(1週平均38時間45分勤務)
勤務場所	・本庁舎、府中駅北第2庁舎、各文化センター、図書館、保健センター、 各保育所、各学童クラブ、ポートレース平和島、各小中学校など 技術職は、主に本庁舎及び府中駅北第2庁舎の行政管理・都市整備部門への配属 保育士職は、主に保育所、学童クラブへの配属
休日	・土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日から翌1月3日まで) 配属により、異なる場合あり
休暇制度	・年次有給休暇、妊娠出産休暇、育児休業、慶弔休暇、夏季休暇など
福利厚生	・定期健康診断や、共済制度による短期給付(医療保険など)、長期給付(年金)など ・府中市職員互助会による宿泊助成、慶弔給付、親睦イベントなど

採用試験について

採用試験実施状況(平成25年度実施分)

職種	第1次試験		第2次試験		第3次試験		第4次試験	
	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)
事務職(上級)	532	142	137	76	76	45	45	37
事務職(初級)	2	2	2	1	1	1	/	
技術職 土木(上級)	4	2	1	1	1	1		
技術職 建築(上級)	7	4	4	4	4	4		
技術職 電気(上級)	5	2	1	1	1	0		
保育士職(中級)	27	17	12	12	11	8		

試験詳細は実施要項へ (市のホームページからもダウンロード可)

問合せ先 府中市政策総務部職員課人事係 〒183-8703 府中市宮西町 2-24
 電話 042-335-4051 (直通)
 メール syokuin03@city.fuchu.tokyo.jp

